

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	地学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0084			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科目			対象学年	2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	教科書：検定教科書「地学」（啓林館）， 参考書：「スクエア最新図説地学」（第一学習社）， 「センサー地学」（啓林館）						
担当教員	田中 小満						
到達目標							
⑤大気の循環と気象現象を理解する。 ⑥人間活動と環境への影響を理解する。 ⑦天体としての地球・太陽の姿を理解する。 ⑧恒星の一生と銀河の姿を理解する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
(A)							
教育方法等							
概要	地学Ⅰでは、地球の構造や活動を理解し、地球活動が我々に与える影響や防災への心構えを理解する。 地学Ⅱでは、気象・大気・海洋の関連や、天体としての地球、地球を含む宇宙構造について理解する。						
授業の進め方・方法							
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 中間・期末試験（成績評価の80%），宿題の演習問題（成績評価の20%）を評価方法とする。到達目標の各項目についての理解度を評価基準とする。 教員名 田中 小満，研究室 非常勤講師室						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	大気圏の層構造と天気			⑤	
		2週	いろいろな気象現象			⑤	
		3週	地球のエネルギー収支			⑤	
		4週	大気の循環			⑤	
		5週	日本の四季			⑤、⑥	
		6週	海洋と海水の運動			⑤、⑥	
		7週	気候変動と異常気象			⑤、⑥	
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	地球・惑星の運動			⑦	
		10週	太陽系の天体			⑦	
		11週	活動する太陽			⑦	
		12週	恒星の概要			⑧	
		13週	恒星の進化			⑧	
		14週	銀河系と宇宙の進化			⑧	
		15週	近年の宇宙研究			⑧	
		16週	後期期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	自然科学	ライフサイエンス/アースサイエンス	ライフサイエンス/アースサイエンス	大気圏の構造・成分を理解し、大気圧を説明できる。		2	
				大気の熱収支を理解し、大気の運動を説明できる。		2	
				大気の大循環を理解し、大気中の風の流れなどの気象現象を説明できる。		2	
				海水の運動を理解し、潮流、高潮、津波などを説明できる。		2	
				地球温暖化の問題点、原因と対策について説明できる。		2	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0